

令和6年度 第1回 新見市地域公共交通会議議事録

日時 令和6年5月21日（火）10:00~12:00

会場 新見市役所南庁舎 3階会議室 3A

1. 開 会

会議の成立を報告

2. 委員紹介

3. 役員選出

会長 橋本 、副会長 後藤

4. 会長挨拶

5. 報告事項（2件）

1) 新見市地域公共計画の実績について

- ・ 事務局より資料1・2により報告

(専門員) 4ページの資料1の数値目標の達成状況のところを考えを教えてくださいましたらと思います。令和5年度末時点で一部目標値を達成しているところもあれば、これからといったところがあると思うんですけど、現時点でどういったところが改善点として新見市の方で、力入れたほうがいかなかったら教えていただけたらと思います。

(事務局) 通常の達成目標でございますが、質問の方でもいただきましたように、目標値に向けてこれから改善を図っていかなければならない点、それから現時点で達成している点がございます。

まず交通空白地域の人口比率につきましては、目標値に対しまして、まだこれから、頑張っていかなければならないというふうな数値でございます。こちらにつきましては、先ほどちょっと申し上げましたように今の方針といたしましては、市街地を除くエリアにつきましては、乗合タクシーを導入していくことで、エリアごとカバーをしていくことで削減をしていきたいというふうに考えてございます。

これからご協議いただくようになるとは思いますけれども、今年度は、哲多地域の方で、乗合タクシーを導入していくことを考えてございます。

それから残っております新見南部地域や、東部地域におきましても、そういったことを考えていきたいと考えております。

市営バス等の利用者につきましては、現時点で目標の方は達成している状況です。

これは想定の中では市営バスの利用者が乗合タクシーに移行していくであ

ろうということで、市営バスが減って乗合タクシーが増えるだろうとの予測でこういった形を考えたんですが、思ったよりも、市営バスの利用者も減っていないくて、乗合タクシーの利用者が増えているような状況にございます。

ただ、これで良しすることはなく、利用促進について引き続き取り組んでいきたいというふうに考えております。

市街地循環バスの利用者数につきましては、想定では横見サンパーク線とら・くるっとの利用者が、もう少し行き来するのかなというふうに想定しておったんですけれども、そこは料金が市街地循環バスは固定の100円、横見サンパーク線は、距離制運賃でいっておりますので、そういったところも影響があるのかなと思います。

こちらの数値につきましては、目標値には達しておりませんが、策定時に比べると、伸びてきている状況でございます。こちらについても、ICOCA等を導入してきたんですけれども、引き続き運行事業者とも協力しながら利用促進に取り組んで参りたいと考えております。

市営バス等の収支率でございますけれども、こちらの方が、目標としては7.3%ということでございます。

現状値から言うとまだ、頑張らないといけない数字にはなってございますが、このところ人件費等は毎年5%ぐらい伸びてきたような状況もございまして、なかなか、一足飛びに改善ということは難しいかなとは考えております。乗合タクシー導入に合わせて統合できるものについては統合を進めていって少しでも改善できるようにしたいと考えております。

公共交通関連財政支出でございますけれども、こちらにつきましては策定時に、想定できていなかった学校統合との関係で、スクールバスの経費が増えています。そして、全体的な経費が高騰しているというようなこともございますので目標値では増減ない程度で行けたらいいなということで書かせていただいているところでございますけれども、何かを削減することがなかなかすぐにはできないところもございます。目標でありますので、頑張っって検討していきたいというところです。

(委員) 経費が上がっているとのことだが利用者負担を上げる考えはないんですか。

(事務局) 現状で今すぐ上げるとかってことは想定しているところではございません。1つには、もちろん収支とか経費については重要な指標ではあるんですが、まず最初に市民の皆さんにご利用をしていただきたいということがございますので、現時点で運賃等をあげるということは、考えていません。

(委員) 経費が下がることはないと思います。そうしていったら、利用者が減ることあると思いますので、利用者負担、運賃を上げていくしかやり方がないんじゃないかなと。先ほども、ら・くるっとと平行して走っている線の利用がやっぱ上がらないっていうのは、やっぱりそこに差があると安いは

（事務局） うを使う。そこを近づけてどっちでも選べる状態にしないと上がらない。
お答えということにはならないかもしれないんですけども、もちろんそう
いった、ご意見も重要でございますので、皆さんのご意見をいただきなが
ら、全員がベストというのはなかなか難しいと思うんですけども、何が
一番ベターなのかっていうところは、協議をさせていただきたいと思いま
すのでよろしく申し上げます。

（会 長） 目を引く数字としてですね、先ほどの5ページの資料2、1人当たりの輸送
経費を見ていくと、改めてすごい数字だなと。
特に新見管内のふれあい送迎バスですかね。1人運ぶのに4万3000円って
これすごい話だなと。
やっぱり事務局の方でも説明ございましたけども、少し運行形態の変更で
考えていくということだったと思います。
その辺りも、このふれあい送迎バスを入れたときとですね、状況は大分変
わってきてるということもございますので、検討を進めなければいけない。
特にこういう数字出ると芸備線で問題になった数字でも2万5000円ぐ
らいしますので、もう即座に廃止という議論だろうと思うんですね、この
数字を見せられると同じように扱ってね。
なので、やっぱりそうはいかないということだろうとは思いますが、
このままでいいとは誰も思わない数字になっておりますので、ぜひ検討を
進めるように、準備を進めてください。

2) 公共交通に関するアンケート調査の実施結果について

- ・ 事務局より資料3により報告

（委 員） 細かくアンケート集計していただいておりますが、まず調査対象、乗合
タクシーの登録者、対象区域の高校生、それから無作為に抽出した対象区
域の住民であります。

それぞれ三者三様の、アンケート結果が返ってくることは想像できるんで
すけれども、この三者の割合とか人数を教えてください。

（事務局） アンケートの配布数ですけども、高校生年代の方が206でございます。
それから75歳以上の方が2176。回答者の数につきましては資料に%は掲
載させていただいているんですが、手持ちで細かい数字を持っていません
ので、こちらについては郵送等でご報告させていただければと思います。

（委 員） 2176人のうち、利用登録者とそうでない方がどれぐらいいるのかという割
合を知らないと、アンケートが正確に分析できないと思う。

（事務局） 今日の資料で細かい数字を持っておりませんでした。申し訳ありません。
そちらの方は、改めて調査概要の方で集計し直しまして、送らせていただ
きたいと思います。

（会 長） 今ご指摘いただいたことは極めて大事といいますか、実際のところ、9ペー
ジとかですね10ページにあるような、利用した・しないみたいなですね、
その辺りも、そもそも、乗合タクシーの利用登録者であればですね、もう

皆さん利用してる。ところが一般の対象地域で無作為抽出した人はですね、実はほぼゼロだったかもしれない。

でもそれを合わせちゃうから、いかにもたくさんの人が利用してるようにも見えるような数字になってるんですね。

ですので、やはりそこが問題だろうと。

要するにこの会議の中でですね、乗合タクシーというものを正確に評価しようとしたときに、対象となってる地域の人たち一般の人たちってどれぐらい利用されてるんだらうと。どういう認識を持ってるんだらうかと。

当然事務局として乗った人の数字が欲しいんで。

乗った人に対してのアンケート調査、要するにここで言うと、乗り合いタクシー登録者に対して調査するんだらうけども、これ一緒に分析しちゃくと、意味がわかんなくなってくるということですのでぜひ、別のものとして、3つの調査として、別々に集計してみてください。

そうすると今、求めていたことがわかるかと思います。

票数をまとめるという話じゃなくて、別の調査をしたという形で集計していただければと思います。

(委員) それでいいますと地域ごとでもやっぱり特色があると思いますので、特にJRのない地域、そういうところはJRが少ないので参考にはならない。使える内容も全然違ってタクシーがない地域もあります。なので、これも加味して3路線3地域やってみて、それぞれの地域ごとに、乗合タクシーをやっているところは多いよっていうそれぞれのところがあるとわかりやすい。

(委員) 資料の12ページ13ページでございませけれども、13ページに令和4年度、前年度のアンケート結果が出てます。

一番下の総合的な評価で、満足、やや満足を合わせると45.7%。

12ページに戻って、令和5年度。満足、やや満足を合わせると64.6%。

20ポイントぐらい上がってます。

それから、16ページに移りまして、下段の表の方に便利になったと思う人が、6割を超えているという状況で、乗り合いタクシーの運行につきましては、だんだん市民に認知されて、ニーズに合ったものであるというようなことが分析できるんじゃないかというふうに考えています。

それから、15ページございませけれども自家用車で移動できなくなった場合の交通手段として、半数以上の方が乗合タクシーを回答されているということで、今後また乗合タクシーの普及に期待されているんじゃないかというふうに考えてございませるので、事務局には、今後早めに乗合タクシーの導入をぜひ、広げていっていただければというふうに思います。

(会長) 乗合タクシーですね、少なくとも今回の調査では、乗っている人は満足感が高いと、というような結果が出ております。

その辺り、本当はもう少し踏み込んで、何が満足なのかというところを踏

み込んで、満足といいながらも、全項目に関して満足ではないだろうと思いますので、どの辺がさらに手直しできる部分なのか、どの辺がさらに推していける部分なのか。

今後広げていくにしても、どこをPRしていくべきなのか、そのあたりをアンケート調査で分析できればいいですね。

あともう1つはですねあくまで乗り合いタクシーを利用したことがある人の中で、ずっと継続的に乗ってる人と、1回乗ったけど、もう使ってもらえないよって言って、現在使っていない人、このあたりの違いが本当は出るんじゃないかと思うんですね。

なので、そこまでこのアンケート調査で、拾っていけるのかよくわかりませんが、つまり会員ナンバーと紐付けができるかどうかと言うことだと思うんだけど、そのようなことができるのであれば、その人が予約がいつ入ったという記録が残ってると思いますので、継続的に乗ってくれる人の調査票と、なんか最初1回乗ったけどそのあととんと音沙汰ない人の調査票、これを分けてみて分析してみると不満でやっぱり乗らないという意見っていうのは聞きだせると思うんですね。

そのあたりどういう調査になってるかよくわかりませんが、会員ナンバーと紐づいてるようであれば、そういうことも可能だと思いますので、ぜひ検討してみてください。

(委員) あとはタクシー会社なんですけど、実際哲西とか、乗合タクシーが始まってから、通常のタクシーの動きってというのはどう変化したのか。

普通のタクシーが全部乗合に移行したのか、乗合もあって、追加で動いてるのかちょっと気になる。

(事務局) 事業者には、調査したことはありませんので数字的なものはわからないんですけど、運行事業者と話をすることで、聞いたところによりますと、通常のタクシーの利用が当然全く無くなるわけではなく、エリア外へ出るときとか、土日や時間外についての利用は当然あるけれども、通常のタクシーでやってたものが乗合タクシーの方に需要としては流れているというふうなことは聞いております。

(委員) もともとタクシーはエリアから出ることがほとんどないので、特殊な例は除いて、どれぐらい運行があったかっていうのは、毎月資料があるので、聞けばすぐ出てくるし、出してもらったらわかるんじゃないかなと。

(事務局) そういったことも、今後はしていきたいというふうに思います。

(会長) 非常に大事な指摘ですね。

今そういう情報があるということであればですね、ぜひ聞いてみてください。

おそらく当然だけどそういう情報はありますのでよろしく願います。

3) 芸備線再構築協議会及び幹事会について

- ・ 事務局より資料4・5により報告

(会 長) 事務局を通じて、地域の雰囲気という形で少しでも伝えていければということで、ここでご紹介いただいた上ですね、委員の皆さまの意見を募っているということだろうと思います。

6. 協議事項 (1 件)

1) 「新見市地域公共交通計画 (別紙: 地域公共交通確保維持事業)」(案) について

- ・ 事務局より資料6により説明

(専門員) 22 ページの目標の利用数のところ、こちらの方は交通計画と連動するような形で108名というのは現状維持する方向か改善するような方向なのか。

(事務局) こちらについては改善をする方向で書かせていただいています。

【協議事項承認】

7. その他

8. 閉 会

以上